SOAI familiar

相愛ファミリア

2020
No. 36

相愛大学　www.soai.ac.jp
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1
相愛中学校・相愛高等学校　www.soai.ed.jp
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1番23号

多くの方に おいしさを届けたい

インタビュー・社会で活躍する卒業生

カネ美食品株式会社　谷垣 咲穂 さん

多くの方に おいしさを届けたい

中食業界のパイオニアとして、おいしさを追求し続けているカネ美食品株式会社（名古屋市緑区）。入社３年目の谷垣咲穂さんはスーパーやデパ地下に並ぶ商品を開発しています。「自分が手掛けたお惣菜をひとりでも多くの方に召し上がっていただけたらうれしいです」。そう笑顔で語る谷垣さんに伺いました。

◆憧れだった商品開発の仕事

大学時代、企業とコラボしてオリジナルのお弁当づくりにチャレンジしたのが商品開発の面白さを知ったきっかけだったという谷垣さん。「リーダーとしてチームをまとめ、１年かけて完成させました。すごく面白かったんです。あんなにわくわくする仕事に携われたらいいなと憧れていました」。昨年春、まさにその商品開発をするテナント商品部に抜擢されました。「こんなに早く機会をいただけるなんて思ってもいませんでしたから驚きました。光栄に思ったのと同時に不安もありました」

約１年間の研修を経て、この春から和惣菜担当に。「季節やイベントに合わせて新商品を考え、食品メーカーさんとも連携しながら一品ずつつくりあげていきます。和惣菜の担当は私ひとりなんです。今まで洋食を好んでいましたが、最近は近所のスーパーやデパ地下で和惣菜を見たり、買ったり、外食時にもできるだけ和食を選んだりして自分の色を出せるように、猛勉強中です。私だからこそできる、若い人の好みにマッチするような新感覚の和惣菜をつくりたいですね」

商品開発という仕事は大変なことも多いが、喜びもまた大きいといいます。「思い描いた商品が完成したときや、お客さまが手に取ってくださったときはとてもうれしいです。なによりお客さまから『おいしい』という言葉をいただくと、とても大きなやりがいを感じます」

社内に相愛大学出身の先輩がいることも心強いという。「卒業記念のマグカップを使われていたので、すぐにわかりました。恩師の竹山育子先生から先輩のお名前も聞いていたので、出会った時はうれしく、学生時代の話で盛り上がりました。いつも気遣ってくださります」

◆管理栄養士をめざして ひたすら勉強した学生時代

将来、食に関する仕事に就きたいと思い、管理栄養士の資格が取得できる相愛大学人間発達学部発達栄養学科へ入学。「自分の好きなことを考えたら真っ先に浮かんだのが食べることでした。オープンキャンパスで竹山先生に出会えたことと、先輩の温かい雰囲気が素敵だったのが決め手になりましたね」

学生時代の４年間は勉強に打ち込んだそうです。「１回生の時から学ぶ量が多く、コツコツ勉強していました。４回生のころは、管理栄養士の資格を取るために、すべての時間を勉強に注ぎました。学ぶ範囲が広く、しんどくて、やめたいと思ったこともありましたが、竹山先生をはじめ、学科の先生方の熱心な指導に支えられ、友だちと励まし合いながら勉強して合格しました。一緒に壁を乗り越えた仲間は今も大の仲良しです」

◆リピーターのお客さまが できるような商品を

商品開発の世界に終わりはありません。常に新しい挑戦が求められます。「ただ単に新しい商品を開発すればいいというわけではありません。おいしくかつ安心・安全が絶対条件です。リピーターのお客さまができるような商品をつくるのが目標です」。そんな谷垣さんを上司の渡辺孝男さんはこう評します。「とにかく明るくて元気。やる気があるのが一番うれしいですね。五感を活かして、おいしいものをつくってほしい。カネ美食品を代表するような和惣菜を手掛けてくれることを期待しています」

◆後輩の皆さんへメッセージ

後輩へ贈る言葉をお願いしました。「興味があることは、ためらわずに挑戦してほしい。案外、自分にあっていると気づくこともあります。違っていたら切り替えればいいだけですから。そして、自分の思いを周りに伝えるのが夢に近づく一歩です。商品開発の仕事がしたい、と話していたことを上司が覚えていて、推薦してくださり、今の私がありますから」

社会で活躍する卒業生

カネ美食品株式会社
商品企画本部テナント商品部

谷垣 咲穂 さん

2018年3月　相愛大学
　　人間発達学部
　　発達栄養学科卒業
2018年4月　カネ美食品株式会社入社

相愛中学校・高等学校「SDGs」の取り組み

国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」の取り組みが日本でも注目を集めています。相愛中学校・高等学校では昨年度から導入した「探究」教育プログラムの題材としてSDGsを取り入れています。最初は戸惑いもあった生徒たちですが、楽しみながら学びを深めています。

（相愛高校：左から2名）

学校代表の取り組み
（高校2年生2名）

「仏教×SDGs 2019」夏期交流会に参加しました！

8月21日～23日、龍谷大学で行われた「仏教×SDGs 2019」夏期交流会に、高校2年生の2名が参加しました。龍谷総合学園加盟校の高校生が仏教およびSDGsについての学びを深め、国連が定める新たな開発課題と自分たちの暮らしとのつながりを感じながら、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた活動を目的としています。2泊3日の合宿に参加し、協働して学習に取り組みました。

SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

2019年1月に、本校はこの取り組みを日本で推進するグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）に加盟申請し、承認されました。これにより、国際社会の共有目標であるSDGsの取り組みをスタートさせました。

高校1年生「ソーシャルチェンジ」

高校1年生は、探究基礎力の育成を目標に掲げ、その方法を体得することをめざして活動しました。「ソーシャルチェンジ」とは、その名の通り、社会を変えていくことをキーワードとし、身近な問題に対してアイデアを出して解決してみようとする学習です。「日本一面白い学校をつくる方法」や「相愛高校を日本で一番有名にする方法」など、活発にアイデアを出し合いました。アイデアの問題点や解決方法、実現するためにできることなど、グループワークを通して、着実に力をつけています。

学年としての取り組み
（高校1・2年生）

高校2年生「SDGs探究」

高校2年生は、探究学習としてSDGsに取り組みました。SDGsの各目標に関して、日本や世界で発生している問題について調査し、学年全体で課題を共有し、グループワークで学びを深めました。

グループワークのテーマは、「身のまわりで取り残されている人を探す」でした。

何に困っているのか、どのように困っているのか、解決する方法はないのかなどについて思考を深め、内容を相手にしっかりと「伝える」ことができるよう、それぞれが工夫を凝らした発表をしました。

相愛学園ウィステリア基金ご寄附のご案内

相愛学園のさらなる発展に向け今年も引き続きご支援をお願い致します

今年も皆様から「ウィステリア基金」としてご寄附をお願いし、それを教育、研究活動の充実に活用させていただきたいと考えております。なにとぞご支援の程よろしくお願い申し上げます。詳しくは、相愛学園ホームページ（https://www.soai.jp/wisteria/index.html）をご覧ください。

ウィステリア基金の使途

重点事業に活用させていただきます！

教育支援事業	未来志向で人材育成を推進します。
研究支援事業	地域発展に役立つ研究で貢献します。
地域貢献事業	自治体や産業界、医療機関など時代に即した開かれた活動を促進します。
教育環境整備事業	学びやすい環境を整備します。
国際交流事業	国際化への対応を強化します。

ご寄附の方法

ご友人と誘い合わせ後輩たちの応援を！

個人の方 一口1,000円～

5つのご寄附方法を準備

- ゆうちょ銀行（郵便局）
  ※手数料不要
- 銀行振込
- クレジットカード払い
- コンビニ払い
- インターネットバンキング

※専用振込用紙は右記の窓口にお申し付けください。

法人の方 一口10,000円～

詳しくは右記の窓口へお問い合わせください。

税制上の優遇措置

ご寄附で税金が安くなることも！

個人の方 ご寄附額等により優遇。確定申告が必要です。

- 所得税
- 大阪府下にお住まいの方は個人住民税も優遇

法人の方 詳しくは下記の窓口へお問い合わせください。

専用振込用紙請求先・お問い合わせ先

学校法人相愛学園
総務部財務課（ウィステリア基金担当）
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4番1
電 話：(06)6612-5901（平日9時～17時）
Email：wisteria@soai.ac.jp

相愛学園ウィステリア基金ご寄附のお礼

多額の寄附をありがとうございました

ウィステリア基金がスタートし約1年半。多くの方にご賛同いただき、多額のご寄附を賜りました。誠にありがたく心から厚く御礼申し上げます。

昨年度は教育環境整備事業として、南港体育館の照明をLEDにすることができました。体育館は大学の授業や部活動のほか、高中の部活動にも利用されており、明るくきれいな光の中で活動できるととても喜んでおります。

なお、寄附者のご芳名は相愛学園ホームページに掲載しております（匿名希望の方を除く）。

音楽学科創作演奏専攻2回生
駒井 美紅さん

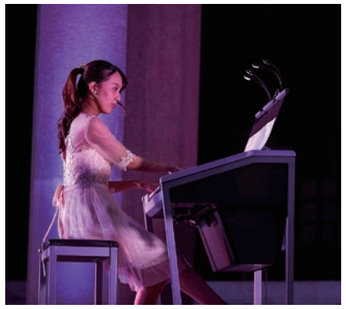
音楽の喜びを生み出しています

子どもの頃から親しんできた電子オルガンを駆使し、創作と演奏の世界の中で自由に音楽の翼を広げる駒井美紅さん。相愛大学でのさまざまな学びとともに、出身地の吹奏楽団ではフルート奏者として活躍しています。多忙な毎日だからこそ、本気で音楽と向き合う喜びを大切にしたいと、時間を惜しんで常に挑戦を続けています。

他の楽器とのアンサンブルを創作

「チャイコフスキーを聴いていると刺激を受けます」という駒井さん。約２時間半の通学中や、作曲・編曲の勉強の合間に大好きなロシア音楽を聴いています。

本学の創作演奏専攻に進んだ理由を聞くと、「師事したい先生がいたこともありますが、カリキュラムに魅力を感じました」。入学以来、専攻楽器である電子オルガンの演奏技術を高めながら、ソナタ形式の楽曲を作曲したり、既存の音楽をピアノ曲やオーケストラ曲に編曲したりと、多彩な学びを経験してきました。「クラリネットと電子オルガンで合奏するために、デュオ曲をつくりました。普段触れていない楽器の魅力や特徴を見つけると、作曲や演奏の成長につながります」



週末は吹奏楽団でフルート演奏

週末は大津市の吹奏楽団「大津シンフォニックバンド」でフルート奏者を務めています。「小さい頃からフルートと電子オルガンを習っていたので、高校受験の頃は、どちらを続けようか迷いました」。悩んだ末に、電子オルガンの道を選択。しかし、仲間とともに取り組む楽しさも忘れがたく、フルートの演奏を通じて「さまざまな年齢、職業の方と交流しています」。さらに音楽を教える視点を磨こうと、ジュニアバンドの指導も意欲的に担当。「子どもたちに『一生音楽を続けたい』と思うような経験をさせてあげたいです」

電子オルガンの魅力を伝えていきたい

今後取り組みたいのは、作曲についてです。「電子オルガンは即興演奏や民族音楽など多彩なジャンルが演奏できるところが魅力なので、楽器の素晴らしさが伝わる曲をつくっていきたいです」。演奏ではコンクールの入賞をめざしています。「作曲の勉強を始めたことで、つくる人の視点から楽曲の全体像が理解できるようになりました」。今、演奏する楽しさ、聴く人に伝える面白さを味わっています。

人文学科3回生
池口 勝利さん

ことばの楽しさ、大切さを伝えられる先生に

教員をめざす池口勝利さんは、講義やクラブ活動を通じて他学部の学生とも積極的に交流し、教員に求められる能力を磨く毎日です。生徒たちに学ぶ楽しさや成長する充実感を味わってもらえる先生になりたいと、どんなときも一生懸命です。

中学校での先生との出会い

中学校・高校の教員免許（国語）取得をめざして相愛大学に進学した池口さんには、教師になるという夢を持ったきっかけがあります。「中学に入学した時、なかなかクラスに馴染めなかったのですが、担任の先生が元気づけてくれました。その先生の担当教科が国語でした。部活の顧問でもあったため、その時から、勉強やスポーツを通じて、生徒を応援したいと考えるようになりました」

学業や課外活動で刺激的な毎日

大学では、それまで以上に日本文学や文化に興味を持つようになり、古典やアニメなど知識の幅が広がりました。教科教育法の模擬授業では、『走れメロス』を教えるという課題に挑戦。「まず教材を読み込み、質問を用意します。どうしたら多様な答えが引き出せるかを考えます。さまざまな角度から変化に富んだ質問を考えるのは大変ですが、準備を通じ、何度も作品を読み込むことで多くの発見があります」

クラブ活動は、バドミントン部に所属しています。「どこを狙って打とう、相手はどう来るかなど、ゲームの駆け引きが楽しいです」。他の学部生との交流もクラブ活動のメリット。例えば「子ども発達学科の友人は小学生を想定に模擬授業を行うので、授業の進め方などについて違う視点で話してくれます。中学生を対象とした模擬授業の準備をするために参考になる話が聞けるのは、ありがたいですね」

成長の喜びを教えてあげたい

どんな国語の先生になりたいですか？ と質問すると、「読む楽しさを教えてあげたい。そして言葉の大切さを実感してもらえるよう、努力していきたいです」。さらに部活動の指導では、「技術だけでなく、少しずつ上達していく喜びを教えられたらと考えています」と明るく答えました。母校での教育実習に続き、夏からはいよいよ教員採用試験がスタートします。今は教職をめざす仲間とともに励ましあい、目標に向かって勉強に打ち込んでいます。

子どもたちを理解する力を伸ばしたい

子ども発達学科3回生
樫根 陸さん

子ども発達学科3回生
中野 由惟さん

地域の子どもたちとのふれあいや模擬授業、学外実習など、さまざまな体験を通じて、専門家としての知識・経験を積んでいる子ども発達学科の学生たち。そのなかで中野由惟さんと樫根陸さんは、理論と実践の両面から多くのことを学び、教育・保育の現場で望まれる「子ども理解」や「先生力」を伸ばそうと懸命に頑張っています。

地域の子どもたちの成長を見守る

中野さんと樫根さんは、ともに住之江区役所との協働プロジェクト「あいあい相愛おはなしのへや」に参加し、お話で子どもたちを楽しませています。

「子どもたちにいい思い出を作ってあげられるようになりたいです」（樫根さん）、「会うたびに子どもたちが成長していることに驚きます。保護者の方々とコミュニケーションが取れるのもとてもいい経験です」（中野さん）。

理論と実践で理解力、対応力を伸ばす

授業では、子どもをめぐる社会問題の解決策を考えるグループワークに挑戦しています。テーマは「子どもとスマホ」「児童虐待」などさまざまで、官庁のデータを調べたり、仲間と話し合いながら解決策を考えます。中野さんは「球技禁止の児童公園が増えてきた」という問題に対し、「小学校のグラウンド開放を行ってはどうか」と具体的に提案。「子どもたちの周辺で何が起きているのかを知る貴重な機会になりました」と話します。

先生役と子ども役を学生が演じる模擬保育・模擬授業の場では、樫根さんは「先生と子ども、両方の立場で物事を考えることができる興味深い体験です。実際に現場に出た時、大学で学んだ実践力がいきると思っています」、中野さんは「人の様子を観察することで、『自分ならどうするか』を客観的に考えることができるようになりました」と成長を実感しています。

どんな「子どもの専門家」になりたいか

二人に将来の夢を聞くと、小学校の先生をめざす樫根さんは、「独りでいる子をクラスメイトとつないであげられる存在になりたいです」。保育園か幼稚園の先生になることが目標という中野さんは、「子どもが安心して過ごせる場を提供したいです。保護者が気軽に話せる先生にもなりたいです」と話しています。

商品開発のセンスを磨いています

発達栄養学科1回生
春日 聡一郎さん

中国薬膳料理店にアルバイトとして入り、修業しながら大学に通っている春日聡一郎さん。昼は管理栄養士をめざして学業に打ち込み、夜は料理人として研鑽を積む日々です。授業では、日本料理店とコラボしてお弁当メニューづくりに挑戦。商品開発の実践経験を積むことでマーケティングやビジネスの視点も身に付くと、積極的に取り組んでいます。

「美味しそう」から「誰に、どう売るか」へ

本学客員教授の鷲岡和徳氏（懐石料理「徳」代表）は、百貨店で販売するためのお弁当メニューを半年かけて企画する「管理栄養士の卵が考えたバランス弁当」プロジェクトを行っています。このプロジェクトに参加した春日さんが最初に学んだのは、コンセプトの重要性。「ここがブレると、誰にどう売るかが決まらない。しっかり組み立ててほしい」という鷲岡氏の指導を受け、みんなでアイデアを出し合いました。「桜」をコンセプトに、春らしさを前面に打ち出すと決めた後は、材料選び、調理法、ターゲット層が好む煮物の硬さや味付けなどを検討しました。「今までお弁当を買う時は、『美味しそう』と見た目だけにとらわれていましたが、商品開発を学んでつくり手の意図や、どんな人に食べてほしいかを想像するようになりました」

試行錯誤で完成に近づく

初めは和食独特の包丁の使い方など、知らないことが多かったのですが、専門書をもとに知識を磨き、技術を深め、試作を繰り返すことで、少しずつ完成に近づけました。また、「グループでの話し合いの中で、色合いなど一人では思いつかない意見も出てきて、勉強になりました」。こうして春らしいお惣菜が詰まったお弁当ができました。

全てが将来のためになる

「栄養学に詳しい料理人になりたい」という春日さん。調理師専門学校を卒業後、本学の発達栄養学科に進み、管理栄養士の資格を取得するために日々精進しています。めざすのは、食と栄養を科学の視点から考えることができる中国薬膳料理の専門家です。「お弁当企画で、フードビジネスの現場を体験できました。今の学びは、将来自分の店を持つ時、大きなプラスになるはず」と先を見据えて、学び続けています。

演奏会やレッスンを通じて音楽の相互理解を深める

フライブルク音楽大学との共同プロジェクト

2019年度に相愛大学音楽学部とドイツ・フライブルク音楽大学との共同プロジェクトを行いました。2019年5月にフライブルク音楽大学から、短期留学生として打楽器専攻生2名、フルート専攻生2名、フライブルク音楽大学のルートヴィヒ・ホルトマイヤー学長やプロジェクトリーダーのベルンハルト・ヴルフ教授が本学に来学しました。学生は3週間のレッスンで、雅楽「越天楽」を学んだり、本学教授による専攻楽器の実技レッスンなどを受講しました。

5月28日には、ヴルフ教授による講演のほか、留学生4名(笙・篳篥(ひちりき)・龍笛を担当)をまじえての演奏会を実施しました。12月には、本学の打楽器専攻生2名、フルート専攻生2名が、3週間の短期留学生としてフライブルク音楽大学に滞在し、室内楽の練習や現地の教授からレッスンを受けました。12月13日には、フライブルク音楽大学にて、演奏会が開かれ、本学で学んだ4名のフライブルク音楽大学の学生による相愛大学での学修の報告と、ヴルフ教授の講演、雅楽「越天楽」の再演などを行いました。

このプロジェクトを通して、西洋と東洋の伝統的音楽の相互理解を深める良い経験となりました。

大学院音楽研究科 第1期生に学位授与

2018年に開設した相愛大学大学院音楽研究科の第1期生10名(声楽領域：5名、器楽領域：5名)に「修士(音楽)」の学位が授与されました。

本研究科の目的は、演奏技量の向上に加えて、その能力を活用し得る企画力と実践力を持った音楽家を育成することです。

今後は、本研究科で修得した成果が、彼らによって社会で展開されることを期待しています。

「相愛サクソフォンアンサンブル」が国際会議に参加

サクソフォン専攻生が演奏を披露

サクソフォン専攻生19名による相愛サクソフォンアンサンブルは、2019年9月中国・上海音楽院にて5日間に渡り開催された国際会議「第2回アジアサクソフォンコングレス」に参加し、単独演奏のほかアジア圏のサクソフォン奏者約80名による合同演奏会に出演しました。2015年以来、こうした大人数によるアンサンブルの活動をフランス、台湾、クロアチアで積み重ね、世界的な奏者たちからもその音楽性や重要性に注目が集まっています。彼らと親交を深めながらさらなる発展をめざしています。

ヤマハエレクトーンコンクール2019ファイナル

一般部門で1位と2位をそれぞれ受賞

ヤマハエレクトーンコンクール2019ファイナル一般部門で第1位に卒業生の田邊優子さん、第2位に創作演奏専攻3回生の村上舞優さんが選ばれました。

田邊優子さん

村上舞優さん

音楽学部生／卒業生等 受賞等一覧

学部生

- 糟野 優香　1回生　ピアノ
  - 第13回ベーテン音楽コンクール全国大会 大学・院生A　自由曲コース・ピアノ部門 第2位
- 近藤 直輝　2回生　作曲
  - Seainx2019作曲コンクール　優勝
- 村上 舞優　3回生　創作演奏
  - ヤマハエレクトーンコンクール2019 ファイナル　一般部門　第2位
- 松田 明音　3回生　音楽療法
  - 第11回徳島音楽コンクール 電子オルガンの部　大学・一般の部　金賞
- 向井 萌々香 3回生　サクソフォン
  - 第20回　大阪国際音楽コンクール 木管楽器部門　Age-U　第2位
- 櫟本 夏奈子 4回生　サクソフォン
  - 第2回名古屋International音楽コンクール 管楽器部門　第2位
- 芝内 もゆる 4回生　ヴァイオリン
  - 第88回日本音楽コンクール セミファイナリスト
  - 第23回松方ホール音楽賞　ヴァイオリン部門 奨励賞

専攻科生

- 藤井 祐伽　音楽専攻科　クラリネット
  - 第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会 クラリネット部門　大学の部　第3位

大学院生

- 稲本 愛歌　2年生　チェロ
  - 第2回日本奏楽コンクール 弦楽器部門　一般Aの部　第3位

卒業生

- 田坂 蘭子　2002年音楽専攻科修了　声楽
  - 第30回奏楽堂日本歌曲コンクール 第1位・中田喜直賞および木下記念賞（金）
- 古瀬 まきを 2006年卒　声楽
  - 音楽クリティック・クラブ賞　奨励賞
  - 大阪文化祭賞　大阪文化祭奨励賞
- 田邊 優子　2016年卒　創作演奏
  - ヤマハエレクトーンコンクール2019 ファイナル　一般部門　第1位
- Ma YunJu　2017年音楽専攻科修了　作曲
  - Prix Presque Rien（プレスク・リヤン賞）2019　Mention Spéciale（特別賞）
- 西川 鞠子　2017年卒　ヴァイオリン
  - 第21回イルザック国際室内楽コンクール（フランス）（Yugen Trioとして）第1位
  - 第33回FNAPEC ヨーロッパ室内楽コンクール（パリ）（Yugen Trioとして）第1位
  - アントン・ルービンシュタイン国際コンクール（ドイツ）室内楽部門（Yugen Trioとして）第2位
  - 2019年度第29回青山音楽賞（Yugen Trioとして）バロックザール賞
- 黒田 美羽　2018年音楽専攻科修了　声楽
  - 第35回 Concorso Internazionale Canto Lirico 部門 日本人に与えられる奨学金を Daikin Italy spa より授与
- 松本 優輝　2019年卒　打楽器
  - 日本打楽器連盟主催「全日本フレッシュコンクール」第1位　グランプリ

新着ニュース！

笑い飯・哲夫氏が 客員教授 に就任

2020年度から、漫才師の笑い飯・哲夫氏が人文学部の客員教授として就任されることになりました。複数の仏教系科目が合同で開講する特別講義を担当していただきます。當相敬愛教育の新しい風として期待されています。

笑い飯・哲夫客員教授（左）と釈徹宗教授

第10回 相愛寄席

オンナの中に オトコがひとり

大阪文化特殊講義
―日本の「宗教」と「芸能」―

学生が裏方で支えて大成功

11月30日に第10回「相愛寄席」が本町学舎講堂にて開催されました。今回のテーマは「オンナの中にオトコがひとり」。出演者は本学の桂春團治客員教授と女性の演者、露の都さん、内海英華さん、桂あやめさん、桂二葉さん。音楽学部の学生のウェルカム演奏で来場者をお迎えした後、幕を開けた寄席は大盛況のうちに終了しました。

この開催を陰で支えたのは人文学部の学生たちです。1回生全員が広報や事前準備から当日の運営、事後のアンケート集計まで、それぞれ役割を担い、経験を積んだ上回生の助けも借りて相愛寄席を成功に導きました。

人文 TOPICS

「カルピス」に学ぶ精神

『社会人基礎力実践』

「カルピス」誕生100周年を記念する昨年度も、国民的飲料を販売するアサヒ飲料株式会社の方をお招きし、『社会人基礎力実践』の1コマを担当していただきました。これはカルピスの創業者が浄土真宗本願寺派僧侶の三島海雲師であったこと、命名には本学初代音楽学部長の山田耕筰先生が関わっていたことが機縁となっています。伝統を今に受け継ぎながらも、次世代へとつなぐ企業のチャレンジ精神に学生たちも耳を傾けていました。

「走れメロス」を題材に

『日本近代文学史』特別授業

大阪樟蔭女子大学の長谷あゆす先生をお招きし、特別授業を行いました。太宰治の「走れメロス」を題材にしたRPG（ロールプレイングゲーム）で、作品を読みながらグループでミッションに挑みます。問題を解くには『日本近代文学史』の授業で学んだ知識が必要です。グループの全員で協力して答えを見つけなければなりません。正解したグループからは歓声が上がり、問題に答えられなかったグループは「もっと勉強して再挑戦したい」と悔しがっていました。長谷先生による解説では芥川龍之介に心酔する太宰治のエピソードなども紹介され、太宰治の人となりや文学史の背景を知ることができました。教員志望の学生は「授業づくりの参考になった」と話していました。

公開講座

今年も人文学を楽しもう

人文学部では毎年本町学舎で、市民向け公開講座を開催しています。「人文学を楽しむ」のテーマもPart4となり、担当教員も、今年で一回りします。昨年度のPart3では、「私説三国志」（中村圭爾）、「沖縄の軍用地と郷友会」（藤谷忠昭）、「『歎異抄』と蓮如上人」（佐々木隆晃）、「ストレスと上手につきあう」（坂田真穂）、「変わりゆくアニメの楽しみ方」（高木学）というラインナップで、さまざまな分野を通じて人文学の広がりと深さを楽しんでいただきました。4回以上受講された方には修了証をお渡ししています。今年もぜひ皆さまご参加ください。

子ども発達学科

紙芝居実践講座

おもしろスキルアップ講座
紙芝居のプロ「のまりん先生」

国内だけでなく国際的に活躍する紙芝居のプロ「のまりん（野間成之）先生」を講師に、これから幼稚園や小学校での実習を控えている３回生が紙芝居の実践方法を学びました。「こんなに楽しい紙芝居は初めてだ」「少し絵を動かすだけで紙芝居の面白さ・楽しさが何倍にもなるとわかった」「現場に自分が立つとしたら、野間先生のように生きた物語を子どもに伝えられるようにしたい」「紙芝居中の目線の配り方や話し方、抜くタイミングなどさまざまな魅せ方があることがわかった。私も引きつけることができるような話し方を身につけたい」など、学生たちの感想から学びの成果がわかります。

紙芝居劇場

近隣の園児たちを対象にのまりんの紙芝居劇場も開催。プロが子どもたちに実践する様子を観察し、子どもとのやりとりから学びを深める場も開設しました。子どもたちが紙芝居に引き込まれていく様子を目の当たりにし、講座での学びに納得する学生たちの姿がありました。

徹底した実践教育の展開 Part4

子ども発達学科が展開する保育者・教員に求められている実践的指導力の養成方法から、４つのプログラムを紹介します。プロから直接、ほんものを、体験的に学ぶという実践教育プログラムです。子ども理解を深め、指導法の研究が本格化する３・4回生次に実施し、保育・教育に活用できるスキルや感性をさらに磨きます。また、紙芝居劇場と人形劇遊びは地域の保育施設の現職も対象にし、リカレント教育と連動させて実施しています。

おもしろスキルアップ講座
「プロから学ぶ人形劇遊び」

人形劇団クラルテから講師をお招きし、「つくって遊ぼう人形劇！保育で使える人形劇ワークショップ」を開催しました。今回は100円の靴下でできる人形づくりです。現場の先生方の参加により、良い刺激を受けながら学ぶことができました。来年度の実習の教材となるよう、その人形で実演する人形劇遊びも体験しました。

プロジェクト型アクティビティ
「木のぬくもりを感じて」

木の里工房木薫（もっくん）から講師をお招きし、ほんものの木にふれ、木のぬくもりを感じ、学生と子どもたちが共に活動することで感性を高め合うことをめざしています。近隣の保育施設の5歳児約50名が参加しました。子どもたちとヒノキやスギの間伐材に触れたり、匂いをかいだり、年輪を数えたりしました。木の皮を剥いたり、チェーンソーを使っての裁断などもすべて子どもたちと行いました。

発達栄養学科

おせち料理コラボ第5弾!「美味笑福おせち」

京阪百貨店とコラボし「美味笑福おせち」の開発を行いました。

第５弾は３回生４名と２回生２名のチームが開発。伝統食材を活かしながら健康を気づかう方にも配慮し、ご家族三世代で楽しめるおせち料理となっています。学生らしいアイデアの詰まったおせちです。

相愛大学×京阪百貨店
守口店で食育フェスタ

「食育フェスタ」を京阪百貨店守口店で５月に開催。学生たちは幅広い年齢の方を対象として「見て、体験して、覚えて」いただける内容を企画しました。食育紙芝居の実演、体脂肪および骨密度測定、人工イクラづくりなどを通して食の大切さを知ってもらうことができました。学生たちは、わかりやすく伝えることの難しさを実感したと成長した一面をみせてくれました。

相愛大学×大阪ガス
ばばっとできる!大阪産を使った かんたん・おいしい・Let's!和ごはん
“地産地消”はいいことずくめ

７月に大阪ガスクッキングスクール淀屋橋でクッキング教室を開催しました。発達栄養学科の４回生８名が「食品ロス」や「日本のお米」をテーマにプレゼンをしました。難しいテーマでしたが、社会問題である「食品ロス」を考えるきっかけになったなどの感想をいただき、学生たちは「伝えたいことが伝わった」と嬉しそうでした。

相愛大学×南港咲洲特別養護老人ホーム
学生が開発したスイーツレシピを実習!

住之江区の南港咲洲特別養護老人ホームで５月～７月の３回、４回生１３名が高齢者とともにスイーツづくりを行いました。「カスタードクリームと餡のどら焼き」、「キラキラ紫陽花ゼリー」、「豆腐白玉のフルーツポンチ」など学生らしいアイデアいっぱいのレシピを提案し、実習しました。リハビリにもつながるような作業を多く取り入れ、毎回約30名の方が参加されました。実習後は野菜クイズや手遊びのできる歌などを歌い交流を深めました。

相愛大学×ニッタバイオラボ
「レシピ創造プロジェクト」第4弾!

（株）ニッタバイオラボとコラボしゼラチンやアガーを使ったからだにやさしい健康的な食事を提案して、今年で４年目。4回生21名がメニュー開発しました。

季節やテーマを決めてゼラチンの機能性を活かし、つくりやすくバランスの取れたメニューを毎月2品提案しています。ホームページでは、高齢者への栄養・水分補給や嚥下障害対応食への展開も提案しています。

留学生のための 食育～和食～プロジェクト

昨年度に引き続き11月14日と21日の両日に国際交流部と連携して、『留学生のための食育プロジェクト～和食～』を開催しました。今年度は近隣の森ノ宮医療学園ランゲージスクールの留学生も含め約60名の留学生の参加がありました。

1～3回生のボランティア学生がサポートして、サラダ巻きや胡麻和えなどにチャレンジし、ミニ講義では和食を通じて健康な食事について学びました。

プロジェクトの実施により、文化、習慣の多様性を学び、グローバルな視点を持った管理栄養士の養成に繋がる効果が期待できます。

音楽をつくり上げる喜び、難しさに夢中

中学1年生から高校3年生まで、仲間と支え合い、個性を活かし自分らしい音づくりをめざしている吹奏楽部の部員たち。演奏会やコンクールに向けての取り組みや吹奏楽の魅力などを、顧問の太田正見先生と部長の穐山静月さん（普通科専攻選択コース3年）に聞きました。

◆一人ひとりにスポットライトが当たる

吹奏楽部は現在、部員は11人。少ない人数で多彩な音色を出すために、全員が異なるパートを担当しています。顧問の太田正見先生は「一人ひとりの楽器にスポットライトが当たるため、誰が欠けても困る。ステージでは、つねに全員の力量が試されているのです」と語ります。部長を務める穐山静月さんは、入部した中学1年生の時に、全くの初心者としてホルンを演奏するようになりました。最初はうまく音が出ず苦労しましたが、先輩に教えてもらい、中学1年生の冬を迎える頃にはずいぶん音が出せるようになりました。「ホルンは右手で微妙に音程を変えられるなど、いろいろな工夫ができる、すごい楽器です」

◆いい演奏は「物語」をつくることから

昨年は、日本管楽合奏コンテスト予選で最優秀賞、全国大会で優秀賞を獲得しました。太田先生は、素晴らしい演奏を実現するためには、部員が同じイメージを共有することが重要なポイントだと考えています。「リズムや音程を合わせることも必要ですが、それ以上に『この曲の中でどんな物語を表現しようか』とみんなで話し合うことが大切」と言います。

「先輩たちの曲づくりを見ているうちに、自分も積極的に話すようになっていきました」と語る穐山さん。メンバーで「この場面でどんな気持ちを伝えようか」などと語り合っています。

◆ステージ活動から自信が湧いてくる

常時10曲以上のレパートリーを用意している吹奏楽部は、学外イベントへの参加機会も豊富。今年1月には、老人ホームでの慰問コンサートに出演しました。この時は部員みんなで合唱したり、日本舞踊が得意な穐山さんが踊りを披露したりと、新たな取り組みにも挑戦しました。コンサートが終了した時、部員のひとりが利用者の方から手をぎゅっと握られて何度も感謝され、音楽には人を支える力があると実感しました。

「みんな、ステージ活動を通じて自信がついていきますね」と語る太田先生。「恥ずかしくて顔があげられなかった生徒も、しだいに『私の音を聴いてね』というように、しっかり前を見るようになる。成長していくのがよくわかります」と目を細めます。

中学

大阪府代表として堂々と演技を披露
新体操部が全国大会出場

8月23日から25日の期間、第50回全国中学校新体操選手権大会が奈良県で開催されました。相愛中学校新体操部は大阪府代表として、団体の部に出場しました。

5人のメンバーのほとんどが、大きな大会を経験したことがなかったため、会場に入ってからとても緊張していました。演技順は、この試合の空気をつくり出すトップバッターということで、不安でいっぱいの様子でしたが、保護者の方々や、先輩たちからのたくさんの応援を力に変えて、相愛らしい堂々とした演技をすることができました。

高校

音楽科3年5組

仏弟子としての自覚をもって立派に受式
高校3年生が帰敬式・卒業奉告参拝

晴天の下、西本願寺並びに大谷本廟へ参拝しました。久しぶりに友人と再会した生徒たちは会話に花を咲かせていました。

西本願寺では、国宝となっている建物の数々を解説とともに案内していただき、生徒たちは襖や天井、壁などに描かれたやまと絵を興味深げに見入っていました。

帰敬式は、しんと冴えた阿弥陀堂（本堂）で、受式者一人ひとりが、ご門主さまからおかみそりを頂戴しました。生徒たちは普段とは違う厳粛な雰囲気の中、仏弟子としての自覚をもって立派に受式していました。法名を頂戴した後は、その由来について楽しそうに語り合っていました。

その後、親鸞聖人の墓所である大谷本廟に場所を移し、卒業奉告参拝を行いました。クラスごとに参拝し、代表者が焼香を務め、3年間ないし6年間相愛学園で学び、卒業することを親鸞聖人に奉告いたしました。

中学
高校

思い出の1ページに
乙女祭

年に一度の乙女祭は、毎年違った色を見せてくれる行事です。今年のテーマは「DREAMY」。

自分たちが楽しむことはもちろんですが、「来ていただいた方にも楽しんでもらいたい」という思いから、皆で試行錯誤しながら準備を進めてきました。

当日は、発表・展示・模擬店など、それぞれの良さが全面に見られ、大いに盛り上がりました。たくさんの方にご来場いただき、かけがえのない1日となりました。

中学
高校

テーマは「百花繚乱」
体育祭

今年も熱く、いきいきとした姿をたくさん見ることができました。中1「大玉転がし」、中2「ロープジャンプ」、中3「でかパン競争」、高1「台風の目」、高2「棒引き」、高3「クラスダンス」と、各学年種目のみならず、中学・高校種目などの新たな競技でも大いに盛り上がりました。令和初の体育祭となる今年のスローガンは「百花繚乱」。クラスのみならず、中学生・高校生が一致団結し、それぞれの個性が輝いた体育祭となりました。

音楽学部音楽学科（2006年卒　声楽）　非常勤講師

古瀬まきを先生が 2つの音楽賞を受賞

プーランク／モノオペラ「人間の声」
会場：ザ・フェニックスホール
(C) Takashi Matsuura

※音楽クリティック・クラブ賞
関西在住の音楽評論家でつくる「音楽クリティック・クラブ」が主催する音楽賞。過去1年間に関西圏で開催された演奏会の中から最優秀の「音楽クリティック・クラブ賞」、著しい成長を示し今後の活躍が大いに期待される「音楽クリティック・クラブ賞 奨励賞」が選考される。

※大阪文化祭賞
1963（昭和38）年創設の歴史ある賞。関西の著名な芸術家・文化人・ジャーナリストにより大阪府内で開催された公演の中から大阪文化祭賞、大阪文化祭奨励賞が選考される。

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ90として行われた「ソプラノリサイタル～La voix humaine～」が評価され、音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、大阪文化祭奨励賞を受賞した古瀬さん。「リサイタルに対して2つの賞を頂けるとは夢にも思わず、受賞のお知らせを頂いた時はとても驚きました。公演は多くの方のお力添えがあって成り立ちます。決して私一人がいただいた賞ではありません。支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちで一杯です」と話していました。さらに今後について、「たくさんの作品の素晴らしさを、一人でも多くの方にお伝えしたい。そのために、ひとつひとつの舞台を大切に、お客様の心に響くステージを届けられるよう精一杯努めていきたい」と目を輝かせていました。

心のこもった演奏に感動

相愛大学附属音楽教室鑑賞演奏会　～木管五重奏～

Flute：井上 帆南
Oboe：廣島 拓弥
Clarinet：藤井 祐伽
Horn：村田 美緒
Bassoon：藤岡 乃蒼

10月5日に毎年恒例の音楽鑑賞演奏会が開催され、今年は音楽学部の学生たちによる木管五重奏でした。

プログラムは『キャンディード序曲』などのクラシックを中心とした聴きごたえのある内容で、途中には楽器紹介もあり、丁寧な楽器の説明に教室の生徒たちは真剣に聴き入っていました。アンコールは子どもたちに人気の『となりのトトロ』で締めくくられ、心温まる演奏会となりました。

相愛大学附属音楽教室

2020年度 教室生募集

入室試験：9月20日（日）

願書受付　7月18日（土）～9月11日（金）
対象＝学齢2年前より大学受験生まで

●「2020年度秋期入室準備コース」開講中　毎月受付
●相愛大学附属音楽教室　通信教育《楽典》　随時受付

お問合せ　TEL 06-6262-0662　FAX 06-6262-0664
https://www.soai.jp/onkyo
※詳しくは募集要項をご覧ください。

2021年度 相愛ジュニアオーケストラ

メンバー募集のお知らせ

相愛ジュニアオーケストラでは2021年度からの新たなメンバーを募集しております。
※詳しくは相愛ジュニアオーケストラをご参照ください。
Facebook（https://www.facebook.com/相愛ジュニアオーケストラ-100431264881125/）

●募集対象　小学1年生から高校3年生まで　※2021年度4月時点
●募集楽器　弦楽器／管打楽器（相愛中学校音楽科進学コース在籍者に限る）

お問い合わせ　相愛大学オーケストラ合同研究室内　相愛ジュニアオーケストラ係
TEL：06-6612-3954（土日祝　閉室）

コンクール入賞者

《 高　校 》

松藤 さとり	（高1・ヴァイオリン）	●第73回全日本学生音楽コンクール　バイオリン部門　高校の部　大阪大会　入選
		●第20回大阪国際音楽コンクール　弦楽器部門 ファイナル　Age-H　入選
		●第20回大阪国際音楽コンクール　デュオ部門　第3位
		●第21回関西弦楽コンクール　優秀賞／審査員賞
片田江 愛世	（高1・ハープ）	●第20回大阪国際音楽コンクール　弦楽器部門 ファイナル　シニア　入選
白井 香里	（高2・フルート）	●第29回日本クラシック音楽コンクール　フルート部門　高校の部　全国大会　入選
福岡 真凜	（高2・ヴァイオリン）	●第73回全日本学生音楽コンクール　バイオリン部門　高校の部　大阪大会 第1位／全国大会 入選
		●第5回豊中音楽コンクール　高校の部　弦楽器部門　第3位
		●第10回クオリア音楽コンクール　ヴァイオリン・コンサーティスト部門　第3位
池田 美璃	（高3・フルート）	●第29回日本クラシック音楽コンクール　フルート部門　高校の部　全国大会　入選
		●第22回“長江杯”国際音楽コンクール　管楽器部門　第3位
勝山 里音	（高3・打楽器）	●第5回堺管打楽器コンクール　高校の部　打楽器部門　第1位／特別賞・ホール賞「ウェスティ賞」

《 音楽教室 》

上野 里桜	（小2・ピアノ）	●第7回あおによし音楽コンクール奈良　①一般ステージ　ピアノ小学生1、2年生部門　第1位
		②チャレンジコース　喜びの表現賞
松岡 実咲綺	（小2・ヴァイオリン）	●第20回大阪国際音楽コンクール　弦楽器部門Age-E1　第1位
		●第31回子供のためのヴァイオリンコンクール　第2B部門　金賞・奨励賞
		●第29回日本クラシック音楽コンクール　ヴァイオリン部門　小学校低学年の部　地区本選会　優秀賞
大屋 響	（小6・ヴァイオリン）	●第73回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門　小学校の部　大阪大会　第3位
		全国大会　入選
塚本 莉央	（小6・ピアノ）	●第24回ヤマハピアノフェスティバルin茨木　ピアノフェスティバル部門　小学校5年生以上の部　奨励賞
		●第23回PIARAピアノコンクール　関西B地区大会　デュオB部門　優良賞
福田 莉々歌	（小6・ヴァイオリン）	●第7回あおによし音楽コンクール奈良　①一般ステージ　弦楽器小学生部門　第1位
		②一般ステージ　ジュニア弦楽器部門総合　第1位
		③一般ステージ　弦楽器部門　ジュニアグランプリ
登木 絢音	（中1・ヴァイオリン）	●第31回子供のためのヴァイオリンコンクール　第5B部門（中学生）　金賞
		●第13回ベーテン音楽コンクール　地区予選　自由曲コース　弦楽器部門　中学生の部　優秀賞
久保村 桃香	（中2・ヴァイオリン）	●第21回関西弦楽コンクール　優秀賞
		●第73回全日本学生音楽コンクール　バイオリン部門　中学校の部　大阪大会本選　入選
		●第13回ベーテン音楽コンクール　全国大会　中学生の部（弦楽器自由コース）　第1位
酒井 琴音	（中3・ピアノ）	●第29回日本クラシック音楽コンクール　ピアノ部門　中学校女子の部　全国大会　第5位

●本学教員の近刊図書●

NHK宗教の時間「観無量寿経」をひらく（NHKシリーズ）
釈徹宗［著］
●NHK出版（2020年3月発行）
定価1,012円（税込）

歎異抄 仏にわが身をゆだねよ（NHK「100分de名著」ブックス）
釈徹宗［著］
●NHK出版（2019年5月発行）
定価1,100円（税込）

みんな、忙しすぎませんかね？ しんどいときは仏教で考える。
笑い飯 哲夫，釈徹宗［著］
●大和書房（2019年8月発行）
定価1,650円（税込）

ブッダの小ばなし 超訳 百喩経
釈徹宗［監修］，多田修［編訳］
●法蔵館（2019年7月発行）
定価1,100円（税込）

薄田泣菫読本
倉敷市・薄田泣菫文庫調査研究プロジェクトチーム【編】（荒井真理亜 他［執筆］）
●翰林書房（2019年3月発行）
定価2,400円（税込）

雅楽のコスモロジー 日本宗教式楽の精神史
小野真龍［著］
●法藏館（2019年10月発行）
定価2,200円（税込）

図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉
直島正樹，河野清志［編著］
●萌文書林（2019年9月発行）
定価2,100円（税込）

保育実践に求められる子ども家庭支援
橋本好市，直島正樹［編著］
●ミネルヴァ書房（2019年10月発行）
定価2,500円（税込）

相愛学園Event Guide

(2020年5月～2021年3月)

㊥＝本町学舎　㊦＝南港学舎

○市民仏教講座
5月9日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○特別奨学生による演奏会
5月19日(火)、20日(水)、21日(木)
㊦ホール　入場無料

○降誕会／親鸞聖人降誕会法要
5月21日(木)　㊥講堂

○相愛大学オープンキャンパス
5月24日(日)　㊦

○相愛ウィンドオーケストラ
発表演奏会
5月24日(日)　㊦ホール　入場無料

○公開講座ヴィオラスペース2020
5月28日(木)　㊦ホール　入場無料

○定例礼拝
6月4日(木)13:20～14:50
㊦ホール　自由参拝

○市民仏教講座
6月6日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○公開講座
「人文学を楽しむPart4」①
6月6日(土)
㊥F604教室　受講無料

○全日本吹奏楽コンクール課題曲
講習会
6月7日(日)　㊦ホール　受講無料

○相愛コンサート
(ピアノ室内楽教員による)
6月10日(水)　㊦ホール　入場無料

○相愛中学校・高等学校
電子オルガンチャレンジ
6月13日(土)　㊥講堂　入場無料

○2・3・4回生金管
アンサンブル演奏会
6月18日(木)　㊦ホール　入場無料

○高3音楽科乙女コンサート
6月20日(土)　㊥講堂

○相愛大学オープンキャンパス
6月21日(日)　㊦

○1回生金管アンサンブル演奏会
6月25日(木)　㊦ホール　入場無料

○定例礼拝
7月2日(木)13:20～14:50
㊦ホール　自由参拝

○市民仏教講座
7月4日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○公開講座
「人文学を楽しむPart4」②
7月11日(土)
㊥F604教室　受講無料

○サマーコンサート(音楽教室)
7月18日(土)　㊥講堂

○相愛大学オープンキャンパス
7月19日(日)　㊦

○相愛フィルハーモニア
第3回定期演奏会
7月19日(日)　㊦ホール

○相愛中学校・高等学校
第1回オープンスクール
7月27日(月)　㊥講堂

○相愛大学オープンキャンパス
8月2日(日)、3日(月)、22日(土)
㊦

○市民仏教講座
9月5日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○サクソフォンアンサンブル演奏会
9月5日(土)　㊦ホール　入場無料

○高2音楽科乙女コンサート
9月5日(土)　㊥講堂　入場無料

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」①
9月12日(土)　㊦

○相愛大学オープンキャンパス
9月13日(日)　㊦

○公開講座
「人文学を楽しむPart4」③
9月19日(土)
㊥F604教室　受講無料

○木管アンサンブルフェスタ
9月23日(水)　㊦ホール　入場無料

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」②
9月26日(土)　㊦

○相愛中学校・高等学校
第2回オープンスクール
9月26日(土)　㊥講堂

○定例礼拝
10月1日(木)13:20～14:50
㊦ホール　自由参拝

○市民仏教講座
10月3日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○相愛コンサート(声楽教員による)
10月9日(金)　㊦ホール　入場無料

○相愛寄席
10月10日(土)　㊥講堂

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」③
10月10日(土)　㊦

○管打楽器専攻成績優秀者による
独奏演奏会
10月13日(火)　㊦ホール　入場無料

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」④
10月24日(土)　㊦

○相愛オーケストラ
第74回定期演奏会
10月26日(月)
ザ・シンフォニーホール

○フルートオーケストラ演奏会
10月31日(土)　㊦ホール　入場無料

○大学祭
10月31日(土)、11月1日(日)
㊦

○報恩講法要
11月5日(木)　㊦ホール

○市民仏教講座
11月7日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○クラリネットアンサンブル演奏会
11月7日(土)　㊦ホール　入場無料

○沙羅の木会合同発表会
11月8日(日)　㊦ホール

○相愛ウィンドオーケストラ
第42回定期演奏会
11月13日(金)
ザ・シンフォニーホール

○相愛大学オープンキャンパス
11月15日(日)　㊦

○ピアノ専攻生による演奏会
11月15日(日)
㊦ホール　入場無料

○電子オルガン演奏会 GIFT
11月27日(金)　㊥講堂　入場無料

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑤
11月28日(土)　㊦

○公開講座
「人文学を楽しむPart4」④
11月28日(土)
㊥F604教室　受講無料

○成道会法要
12月3日(木)　㊦ホール　自由参拝

○打楽器アンサンブル演奏会
12月5日(土)　㊦ホール　入場無料

○市民仏教講座
12月12日(土)13:30～15:00
㊦学生厚生館S307　受講無料

○音楽教室ピアノ公開レッスン
12月13日(日)　㊥講堂　入場無料

○相愛フィルハーモニア
名曲コンサート
12月19日(土)　㊦ホール　入場無料

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑥
12月19日(土)　㊦

○第65回相愛大学附属音楽教室
修了演奏会
12月19日(土)　㊥講堂

○金管アンサンブルフェスタ
12月21日(月)　㊦ホール　入場無料

○作曲専攻作曲作品発表会
12月26日(土)　㊦ホール　入場無料

○元旦礼拝
1月1日(金)
本願寺津村別院(北御堂)　入場無料

○古楽器・アンサンブル演奏会
1月12日(火)　㊦ホール
入場無料

○親鸞聖人御正忌法要
学園関係物故者追悼法要
1月15日(金)　㊥講堂

○古楽実習発表会
1月19日(火)　㊦ホール

○公開講座
「ヘルシーダイエット教室」⑦
1月23日(土)　㊦

○高1音楽科乙女コンサート
1月23日(土)　㊥講堂

○音楽専攻科修了演奏会
2月13日(土)　㊦ホール

○相愛高等学校卒業奉告参拝
帰敬式
2月22日(月)
浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺)

○相愛高等学校卒業式
2月27日(土)　㊥講堂

○相愛オーケストラ
第75回定期演奏会
3月6日(土)　㊦ホール　入場無料

○相愛中学校卒業奉告参拝
3月12日(金)
本願寺津村別院(北御堂)

○公開講座
「人文学を楽しむPart4」⑤
3月13日(土)
㊥F604教室　受講無料

○相愛中学校卒業式
3月13日(土)　㊥講堂

○スプリングコンサート
3月13日(土)　㊥講堂

○学内オペラ公演
3月15日(月)　㊦ホール

○相愛大学卒業奉告参拝
3月16日(火)
本願寺津村別院(北御堂)

○相愛大学卒業式
3月18日(木)　㊦ホール

○相愛大学卒業演奏会
3月20日(土)　㊦ホール　入場無料

○相愛ジュニアオーケストラ
第22回発表演奏会
3月21日(日)　㊥講堂　入場無料

○相愛大学卒業演奏会
3月23日(火)　いずみホール

○相愛大学オープンキャンパス
3月28日(日)　㊦

○相愛ウィンドオーケストラ
ポップスコンサート
3月28日(日)　㊦ホール　入場無料

※開催日時等は変更となる場合がございます。

相愛大学 SOAI UNIVERSITY
卒業生・修了生対象
「就業力調査」実施中!!
調査に関する詳細はQRコードまたはホームページより「就業力調査」のバナーをクリック